

事業所名

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

14日

法人（事業所）理念		遊びと療育を通して、様々な体験を積み重ね、障害をもつ子どもたちの可能性を伸ばす場所を作っていく。						
支援方針		子ども一人ひとりの発達に応じて、スモールステップを用いて子どもたちが自信を感じられる療育を目指す。						
営業時間		9時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	音楽活動やリトミックを通じて、身体のリズム感や基本的な動作を身に付け、健康的な身体づくりをサポートする。また、座学でのプリント学習やビジョントレーニングにより、視覚的な情報処理能力の向上をはかり、日常生活の中でのスムーズな動きや姿勢の改善を目指す。						
	運動・感覚	音楽に合わせて体操を行うことで、リズム感やバランス感覚を育成する。音の刺激やリズムに合わせた動きが感覚統合を促し、身体をコントロールする力の向上につながる。						
	認知・行動	リトミックやサーキットの中で、指示を理解して行動する力を養い、座学ではプリント学習やSSTを通して計画性や問題解決力を養っていく。						
	言語 コミュニケーション	歌やプログラム内での発声活動を通じて、発音や言語表現力を鍛えていく。また集団でプログラムを行うことで、仲間と一緒に声を合わせたり、集団の中での発表の機会が得られる。またSSTなども行っており、より具体的なコミュニケーションの技術を学ぶことができる。						
	人間関係 社会性	歌やリトミックといった集団プログラムを通じて、音楽の楽しさを体験しながら、リズム感や協調性を育てていく。また、SSTでは具体的な場面での適切な行動を学び、人間関係の構築に役立てる。						
家族支援		ご家族に療育の機会を作る。ご家族とお話をする機会を作り、ご家庭で困っていることなどが改善するように支援を行っていく。			移行支援		保護者に連絡をして、園や教育機関と連携を取っている。	
地域支援・地域連携		感染症の影響により他機関との関わりが薄れてしまっているため、今後は積極的に関わりを持っていく。			職員の質の向上		定期的な研修や会議の機会を設け、療育の質の向上に取り組んでいる。	
主な行事等		祝日に個々の課題に応じた療育イベントを行う。						